

# あったかいが いいね



まだ 春なのに  
 もう 山の中には  
 たくさん夏の音が  
 神さまが つかえてきた  
 たくさん 夏の夏に  
 ぼくたちは ありにりく



# えがおがいいね

「あったかいがいいね」は法人が掲げている大切な言葉です。私たちは、関わる全ての方に「あったかい」と感じていただける存在でありたいと願っています。日々歩んでいます。

私が20代のころ、ある特別養護老人ホームで、日赤医療センターの総看護師長という経歴をお持ちの方に出会いました。物静かに穏やかながらも凛とした佇まいの方で、楽しく会話をさせていただいたことを覚えております。その方に、当時の管理者が「福祉を行う上で、最も大切なことは何ですか?」と尋ねました。すると、その女性は静かに「笑顔です」と答えてくださいました。大きな組織をまとめてこられた経験、そしてその後自身が利用者としてサービスを受ける立場になられた実感の両方から感じ、その一言は私の心に深く刻まれています。



シャローム横浜施設長  
高原 信夫

「あったかいがいいね」は、毎年アドベンチスト福祉会で行われている様々な活動を紹介しています。「いのちを愛し、いのちに仕える」という理念に基づいて現場では、ご利用者や職員、ご家族の笑顔をあふれています。その姿を通して、少しでもアドベンチスト福祉会の取り組みに興味を持っていただければ幸いです。

今後様々な問題や課題がありますが、皆で力を合わせて目の前にある課題一つ一つを解決しながら、皆様の笑顔の為に歩んでまいりたいと心より願っております。

# 心を込めて取り組む



理事長  
村本 英邦

2025年度も、「あったかいがいいね」を発信することを心がけてまいりました。地域の皆様をはじめ、行政、各関係機関の皆様、また本年度、当法人に関わって下さったすべての皆様に心から感謝を申し上げます。

毎年、この「あったかいがいいね」では、各施設(事業所)が取り組んだ1年間の活動の様子をご報告しておりますが、本年度も私たちの働きが「いのちを敬い、いのちを愛し、いのちに仕える」との理念の下で、どのように実践されたかについてご紹介いたします。

特に今号は、各施設で役職に就きながら相談支援を行っている、社会福祉士の資格を持った皆様が専門職の視点から「キリスト教福祉実践を通して見据える

法人の将来像」というテーマで対談をしたときの様子をご紹介します。その中には、福祉の現場に求められる人間像、或いは人と人との関係性の大切さが話されていますが、それぞれの体験を通して得られた感想も語られていますので、ぜひ目を通していただきたいと思います。

限られた紙面では内容を十分にお伝えすることは出来ませんが、アドベンチスト福祉会が福祉の根拠としている聖書を通して、また実践のモデルとしているイエス・キリストのお働きを通して、どのような姿勢でご利用者(児)と向き合うべきかについて、その考えをお伝えできれば幸いです。

2026年度は法人が設立されてから29年目を迎えます。福祉の現場には様々な課題がありますが、改めて、私たちはご利用者の人権を守り、その安全を最優先に考えながら、おひとりおひとりが安心して毎日を過ごすことができるように、心を込めて取り組むことをお約束します。



(2024年4月1日から2025年3月31日)

## 事業活動計算書 資金収支計算書 貸借対照表

サービス活動増減の部

収益	サービス活動収益計	①	1,346,404,559
費用	サービス活動費用計	②	1,374,382,852
	サービス活動増減差額	③=①-②	△27,978,293

サービス活動外増減の部

収益	サービス活動外収益計	④	14,446,451
費用	サービス活動外費用計	⑤	10,438,390
	サービス活動外増減差額	⑥=④-⑤	4,008,061
	経常増減差額	⑦=③+⑥	△23,970,232

特別増減の部

収益	特別収益計	⑧	0
費用	特別費用計	⑨	2
	特別増減差額	⑩=⑧-⑨	△2
	当期活動増減差額	⑪=⑦+⑩	△23,970,234

繰越活動増減差額の部

	前期末繰越活動増減差額	⑫	85,591,340
	当期末繰越活動増減差額	⑬=⑪+⑫	61,621,106
	基本金取崩額	⑭	0
	その他の積立金取崩額	⑮	5,000,000
	その他の積立金積立額	⑯	0
	次期繰越活動増減差額	⑰=⑬-⑭+⑮-⑯	66,621,106

事業活動による収支

収入	事業活動収入計	①	1,360,731,010
支出	事業活動支出計	②	1,354,089,587
	事業活動資金収支差額	③=①-②	6,641,423

施設整備等による収支

収入	施設整備等収入計	④	0
支出	施設整備等支出計	⑤	60,193,780
	施設整備等資金収支差額	⑥=④-⑤	△60,193,780

その他の活動による収支

収入	その他の活動収入計	⑦	46,710,924
支出	その他の活動支出計	⑧	53,738,424
	その他の活動資金収支差額	⑨=⑦-⑧	△7,027,500
	予備費支出	⑩	0
	当期資金収支差額合計	⑪=③+⑥+⑨-⑩	△60,579,857
	前期末支払資金残高	⑫	289,289,521
	当期末支払資金残高	⑬+⑫	228,709,664

資産の部

流動資産	258,785,735
固定資産	2,212,760,639
基本財産	1,786,315,345
その他の固定資産	426,445,294
資産の部合計	2,471,546,374

負債の部

流動負債	72,973,985
固定負債	208,001,955
負債の部合計	280,975,940

純資産の部

基本金	1,346,942,366
国庫補助金等特別積立金	673,006,962
その他の積立金	104,000,000
次期繰越活動収支差額	66,621,106
(うち当期活動収支差額)	(△23,970,234)
純資産の部合計	2,190,570,434
負債及び純資産の部合計	2,471,546,374

入居者数 (2025年12月1日現在)

シャローム横浜			シャローム桜山			
男	女	計	男	女	計	
23	84	107	16	30	46	
平均年齢	83.4	86.6	85.9	85.1	86.0	85.5

やさしさ  
優い  
あふれるところには  
みんなが集まり  
平和な場所が  
生まれます



職員数

特養ケアハウス	142名
ひかりが丘地域ケアプラザ	39名
四季の森小学校放課後キッズクラブ	12名
シャロームミルトスの木(上白根)	22名
シャロームミルトスの木(白根)	22名
シャロームミルトスの木(鶴ヶ峰本町)	22名
シャローム三育保育園	37名
ベートルの夢Ⅱ	10名
ベートルの夢Ⅰ	8名
合計	292名

職員資格保有者

社会福祉施設長	3名
社会福祉士	7名
社会福祉主事	14名
介護福祉士	79名
主任介護支援専門員	3名
介護支援専門員	27名
ヘルパー1級	8名
ヘルパー2級	53名
精神保健福祉士	1名
嘱託医	2名
看護師	14名
准看護師	2名
保健師	0名
理学療法士	2名
作業療法士	0名
柔道整復師	1名
管理栄養士	4名
栄養士	10名
調理師	14名
保育士	36名

# キリスト教福祉

実践を通して見据える  
法人の将来像

## キリスト教福祉とは

制度としての福祉というだけではなく、聖書を土台として、社会の中で弱い立場のひとに寄り添い続ける福祉のことです。

そのためには私たち法人は日々、感性を磨き続けて行かなくてはなりません。今回はアドベンチスト福祉会で重要な責任を担っている社会福祉士の皆さんにキリスト教福祉の観点から語っていただきました。

### 出席者

シャローム横浜施設長  
高原信夫

アドベンチスト福祉会・チャプレン  
上前 至

シャローム桜山生活相談員  
池原雅彦

ペーテルの夢Ⅱ管理者・児発管理責任者  
福地 泉

### 進行役

アドベンチスト福祉会理事長

村本 英邦



まず自己紹介と「社会福祉士」となった理由を教えてください

**上前** 私は現在横浜市ひかりが丘地域ケアプラザの地域包括支援センターで働いています。25年ほど前はカナダで日系教会の牧師をしていましたが、帰国を機に資格取得を目指しました。

**福地** 私は沖縄で放課後等デイサービス、児童の訪問事業の管理者をしています。学生時代、弱い自分が他の誰かの弱さに向き合っただけで、社会福祉の教科書を閉じた事を覚えています(笑)。

あるとき「わたしがあなたの前を歩き、しんがりとなる」と言う聖書の言葉に勇気づけられ、改めて資格取得を目指しました。

**池原** 今、ケアハウスで生活相談員をしています。高校3年生のとき、漠然と「自分は福祉かな」と思い福祉系の大学に進学したことがきっかけです。

池原雅彦



**上前** 以前、ご利用者の介助をしている時に「上前さん、あなたがどんな立派な資格をもっているかは私には関係ないのよ。私にはね、あなたがどれだけ親切に、優しくしてくれるかが大事なの」と言われました。その時、福祉の本質は資格ではなく、「人に寄り添える愛」、「謙遜さ」が作り出す関係性だと知ったんです。

**福地** 私は、あえてチームワークの大切さを挙げたいです。スタッフの性格やスキルが調和して支援が実を結んだとき、その感動を一緒に喜びあえる仲間がいることは素晴らしい体験です。小さな事業所は、スタッフの信頼関係が直に支援に波及します。実際、多くの困難を乗り越えることができました。

### 他に大切な事はありますか

**池原** 現場はチームで動きますので協力は大切です。情報を共有しても、価値観や方向性まで共有するにはたくさん時間がかかります。人手が足りない時など、つい勝手に動きたくなりそうになります。

**上前** そうですね、多くの問題は自分自身にあるのかもしれない。問題や課題を他人の中に見ようとするのではなく、まずは自分が変わることを意識する必要があります。心配りでもいろいろとしようか、調整、協調、

その意識が関係性を維持するには欠かせないと思います。

**池原** 自分の課題はたくさんあります(笑)。でも、優しいだけで問題は解決しませんので、チームとしての客観的な意見や助言は本当に助けになります。

**福地** 大ありです！ 今日、できたことも翌日はできない。その繰り返しです。6年間、通い続けた児童がいました。家庭環境に配慮して食育や保清、その他の観点から根気よく関わって課題を解決したと思っています。夏休みに利用を少し休んだことだけで、元の課題だらけの状態に戻ってしまいました。特性を抱えた児童には、時に家族が抱える問題も絡んでいて、関わっていることがとても大切です。

成功と挫折の繰り返しですね。問題は対象者だけではなく、家族関係も含めた全体像の中で捉えていくことが大切ですね。

**福地** 福祉を実践しようとするとき、何を土台にしていますか

**池原** そうですね、私たちの福祉の働きは聖書を土台とした「キリスト教福祉」です。その模範はイエス・キリストです。私も何度も聖書の言葉に力を貰いました。その時の安堵感、ある時は幸福感を、今度は目の前にいる助けを必要としている人々と分かちあいたいと思います。

**高原** 現在、特養の施設長をしています。40年ほど前、看護師として病院勤務をしていた時、徘徊する認知症の患者さんに一晩中付き添いながら、もつと何かできないかと、福祉の分野に転職しました。

在宅と施設の相談員をしているとき、医療と福祉の連携の重要性を感じ、その「橋渡し」がしたいと、資格取得を目指しました。

### 社会福祉士の役割とはどのようなものだと思いますか

**福地** やはり私も「橋渡し」だと思います。たしか中島みゆきさんの「糸」という歌に、たて糸とよこ糸が織りなす布が、傷ついた誰かを温めるかもしれないというようなフレーズがあります。家庭、学校、地域の様々な所や人々にいろいろな糸があります。私たち社会福祉士は個々の糸を最も的確に結びつける役目だと思っています。



福地 泉

**高原** 同感です。ご利用者やご家族の価値観は同じではありません。それぞれの悩みや問題を共有し、心の声に耳を傾け、最善の環境を整えていく、それが私の役割だと考えています。

**池原** ケアハウスの生活相談員は、入居者一人一人の「一番身近な相談相手」だと思います。入居者の個人的な相談から施設全体の課題解決にまで細やかに関わっていくことが大切です。

**上前** 当たり前のことですが、みなさんの抱える問題や課題は千差万別。私たちはそれを知っているから、結局ひとまとめに解決しようという誘惑にかられます。福祉で大切な事は個別性です。だからこそ「寄り添う」ことが大切であると考えます。

「ご利用者の方」との関わりの中で特に意識していることはなんでしょうか

**池原** 先ずは私自身が、入居者から信頼されるような関わり方を意識しています。ケアハウスの人間関係が良好ですと生活そのものが明るくなり、生活の質は大きく変わってくる実感しています。

**高原** その通りですね。「この人には任せられる」という信頼は安心感につながります。目の前のご利用者がかけがえのない存在であることを忘れないように心がけています。

# 横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ

## ってこんなところ

地域ケアプラザは、高齢者、子ども、障害のある人などが地域で安心して暮らせるように、身近な福祉・保健の拠点としてさまざまな取り組みを行っている横浜市独自の施設です。横浜市には146か所の地域ケアプラザがあります。

ケアプラザは、地域包括支援センターをはじめ、通所介護事業（デイサービス）、居宅介護支援事業、生活支援体制整備事業、地域交流事業を行っています。

ひかりが丘地域ケアプラザは、横浜市旭区の上根根地区にあります。この地区では「ともに声をかけ合い、ともに助け合い、ともに考え、ともに育ち、ともに生きる街」という地域福祉保健計画をたてており、私たちも、その目標を共有し、地域に寄り添った活動・事業を展開しています。

所長 滝沢泰彦

### デイサービス



#### 懐かしの喫茶メニュー

エビフライ、かにクリームコロッケ、ソーセージソテー、ナポリタン、サラダ、サンドウィッチ、クリームソーダゼリー



おやつ  
手作りプリンアラモードと飲み物



#### 敬老お祝い御膳

天ぷら、豚しゃぶサラダ、冬瓜とさつま揚げの煮物、赤飯、赤だし、柿



今年度通所で人気だったレクリエーション「ポッチャ」です。



花の高校生4人組



皆さん一緒に大きな声でカラオケ大会



夏祭りは歌って踊っていい汗かきます

### 地域交流



チャームング体操自分らしく生きるための、高齢者向けの歌いながら行う運動「歌うチャームング体操」を開催。



卓球をする前は、杖歩行だった人が、杖なしで卓球が出来るようになりました。



上前 至

最後に、皆様の考える法人の将来像について教えてください

上前 「あつたかいいいね」の標語のもと、この法人が地域における「福祉の灯台」としての役割を果たす存在であって欲しいです。例えば、震災が起こった時「あそこに行けば大丈夫」「あそこに行けば必ず受け入れられるよ。ほんとに優しいんだよ」と地域の皆様に認識されている法人になれるといいですね。地域の最後の砦、逃れの場所になりたいものです。

福地 私は福祉実践の根拠を聖書に置いた法人の姿勢に賛同しています。戦争、感染症、環境問題等、いま世界を取り巻く事情は混沌としていて、何が正しくて大切なことがなかなか見いだせません。組織の運営に関わる立場の一人としては、常に変わらない一筋の光を地域に灯し続ける組織づくりをしたいです。

特に沖縄において私たちに課せられた働きは、沖縄の貧困や

負の連鎖に向き合い続けることでもあります。

真の平等、個人への関心、安心と信頼に向けて誠実に取り組む職員が生きていきと働ける法人像を夢見しています。

池原 キリストの品性は愛です。それは自然にあふれ出るものであり、また周りの人々は「その品性に魅了された」と聖書に書かれています。

入居者のある方が、外から来た見学者の方に「ここは本当に良いところよ」と声をかけてくださる場面が何度かありました。我々、職員がアピールするというよりも、ここで生活されている皆さんに「良いところ」と言っていただけのような法人でありたいと思います。

高原 法人が提供するサービスは国の法律の上に成り立っています。しかし、福祉を行う上で一番大切なのは、聖書の神様が創られたかけがえのない存在である、一人ひとりに真摯に向き合って、そのいのちに対して誠実であることです。その積み重ねによって、地域のニーズに向き合い、応えていくことで、法人が地域にとって欠かせない存在となっていくと思います。

最後に私のモットーとなっている聖句を紹介します。「何をすることも、人に対してはなく、主に対してするように、心から働きなさい」



高原信夫



今日はお時間を取って対談して下さり、ありがとうございます。(村本)

### 対談を終えて 法人の将来像とは

私たち法人は常に聖書をもとに福祉を行っています。ところが日本語の聖書には「福祉」という言葉がどこにもでてきません。先日、ある職員さんから英語の聖書では旧約聖書の「シャローム」を「Welfare (福祉)」と訳していると教わりました。つまり私たちの名前「シャローム」は福祉そのものを現していたのです。もともと「シャローム」とはヘブライ語で「平安」とか「平和」といった意味です。

誰も孤立させず、寄り添い続けるキリスト教福祉の活動は、心に平和をもっているからにほかなりません。

その意味で、当法人が地域社会とサービスの対象者一人一人に対して、個人的な関心を持ち続けることが法人の存在意義であり、それを次の世代の職員にも継承していくことが大切だと実感しました。

アドベンチスト福祉会理事長  
村本 英邦

私たちが法人はこれからも平和の場所を作っていきます





**ケアサービス課  
特別介護棟3階**

特養 3 階で行うレクリエーションでは、主に味覚や視覚で楽しんでいただけるようなものを企画しております。味覚でのレクリエーションでは季節に関連したものをはじめとし、ご利用者に合わせた形態で用意させていただきます。季節以外にも、カップラーメンレク等も行いました。

麺類が食べられない方にはスープだけでも味を楽しんでいただきました。普段口の開きの小さいご利用者も大きな口を開けておりましたので、味覚による刺激を楽しんでいただけたのだと思いました。視覚でのレクリエーションでは、季節に合わせた切り絵をADLが高くなくても、ご利用者全員に楽しんでいただけるような企画を考えております。

特養 3 階主任 神宮



**ケアサービス課  
一般虚弱棟4階**

特養 4 階は虚弱一般棟といい、一般的には軽度から中度の方の介護を基本としていますが、重度の方のケアも行っています。また医務室も4階のフロアにある為、医療的ケアが多く必要な方(胃瘻等)の対応も可能なフロアとなっています。

また最上階のフロアに

なっており、食堂からは天気が良いと綺麗な富士山が見え、ご利用者様の楽しみの一つとなっています。

特養 4 階主任 加藤



**認知症対応型通所介護  
ひまわり**

認知症対応型通所介護、通称ひまわりとして1日12名を定員に月曜日～金曜日、旭区瀬谷区の方々にご利用いただいております。1日でも長く在宅生活を送っていただけるようにサポート

させていただいております。レクリエーションも取り入れており、塗り絵は根強い人気です。調理をしたり、時には季節を感じるために外出をしたり中庭を散歩したりしています。皆様の第2のわが家を目指しています!!

管理者 木下順子



**LSA 横浜市高齢者用市営住宅等  
生活援助員派遣事業**



横浜市の高齢者用市営住宅等生活援助員派遣事業として、市営ひかりが丘住宅で登録の見守り訪問・電話で、「お元気ですか」と、月や週に1回等の見守り対応を行っています。また、毎週火曜日14時から16時に、お茶飲みサロン・ちよこつと相談室を行い、高齢者の皆様の交流の場としておしゃべり等をお楽しみいただいたり、脳トレ等を行っています。また、ちょっとしたご相談を受ける等、高齢者が安心して生活ができるよう事業を行っております。

市営ひかりが丘住宅生活援助員  
溝口 岡本

第27号 あったかいいね

2026年3月1日

特別養護老人ホーム シャローム横浜  
施設長 高原 信夫  
Tel.045-922-7333 Fax.045-922-7334

デイサービスセンター シャローム横浜  
Tel.045-922-7337 Fax.045-922-7338

食事サービス  
Tel.045-922-7339 Fax.045-922-7336

横浜市高齢者用市営住宅等生活援助員派遣事業

四季の森小学校 放課後キッズクラブ  
Tel.045-951-7564

ケアハウス シャローム桜山  
ハウス長 村本 英邦  
Tel.045-922-7330 Fax.045-922-9648

横浜市 ひかりが丘 地域ケアプラザ  
所長 滝沢 泰彦

・通所介護部門・居宅介護支援事業  
・地域包括支援センター・地域交流事業  
・生活支援体制整備事業  
Tel.045-953-6890 Fax.045-958-1140

高齢者グループホーム  
シャロームミルトスの木(上白根)  
ホーム長 渡部 紀久  
Tel.045-954-5960 Fax.045-954-5961

高齢者グループホーム  
シャロームミルトスの木(鶴ヶ峰本町)  
ホーム長 渡部 紀久  
Tel.045-958-0221 Fax.045-958-0220

保育事業  
シャローム三育保育園 園長 村上 涉  
Tel.045-390-3193 Fax.045-390-3192

沖縄事業所長 坂本 晋一  
沖縄 相談支援事業所 ベーテル  
Tel.098-988-3735 Fax.098-988-3736

沖縄 放課後等デイサービス ベーテルの夢  
管理者 坂元 十七重  
Tel.098-988-0680 Fax.098-988-3736

沖縄 放課後等デイサービス ベーテルの夢Ⅱ  
管理者 福地 泉  
Tel.098-917-4181 Fax.098-917-4182

メールアドレス  
シャローム横浜:shalom-yokohama@adventist-welfare.jp  
シャローム桜山:sakurayama@adventist-welfare.jp  
ひかりが丘CP:hikarigaoka-careplaza@adventist-welfare.jp  
シャローム三育保育園:s-san-iku@adventist-welfare.jp  
ベーテルの夢:bethel@adventist-welfare.jp  
ベーテルの夢Ⅱ:bethel2@adventist-welfare.jp

ホームページ  
アドベンチスト福祉会 <http://www.adventist-welfare.jp/>



編集 高原 信夫  
イラスト 長嶋 洋一  
制作 ティム有限会社